

ナウマン通信



2021年
1月18日発行
第31号

大阪市立我孫子南中学校

1.17に思う

1995年、1月17日午前5時46分。6434人の尊い命が犠牲になった阪神淡路大震災の発生から26年が経ちました。改めて追悼の意を表するとともに犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします。先週の避難訓練の時にも少し触れましたが、今日の全校集会でももう少しお話をしましたので補足も加えて紹介させていただきます。

1月18日、全校集会より

先週金曜日の避難訓練でもお話ししたように、昨日1月17日は26年前の5時46分、阪神淡路大震災が起こった日です。昨日のニュースでもたくさん報道されていたので皆さんも目にしたことと思います。校長先生も改めて当時を思い出していました。大阪の南の方に住んでいましたが、大きな揺れで目を覚ましました。何かが落ちてきたのかと思うぐらいの衝撃、何をどうしていいかわからず、しばらく布団からも出れず、揺れが収まるのを待つしかありませんでした。ようやく揺れが収まりとにかく仕事に行かないといけなと思い、車で学校に向かいましたが、大渋滞。普段なら1時間くらいで通える道のりが2時間たっても到着するどころか3分の1も進んでいない状態でした。車の中で聞くラジオのニュースが唯一の情報源でしたが、兵庫県を中心に大きな地震が起こったことぐらいがわかっているだけでどれだけの被害が出ているのか、どこがどうなっているのかわからない状況で不安が募るばかりでした。仕事に間に合わないのでは連絡をしようと思っても当時はまだ携帯電話も普及しておらず、公衆電話のある所まで行かないといけませんでした。今は多くの人がスマホを持っていると思いますが、この震災が普及のきっかけになったと思います。話は少し変わりますが、今はいいも悪いも様々な情報が簡単に手に入るようになりました。便利になった反面、知らなくてもいい情報や間違った情報まで知ってしまうようになりました。だからこそ、みんなには**間違った情報に左右されないように、正確な情報を正確に判断し、正確に行動できるようになってほしい**と思います。今週もしっかり頑張しましょう。



今週は3年生の面接指導を行います。3年生のみなさん、頑張ってください。